

三里文化会館空調設備取替工事

図面目次

図面番号	図面名称	縮尺
M-01	特記仕様書(1)	NOSCALE
M-02	特記仕様書(2)	NOSCALE
M-03	配置図・附近見取図・工事概要	NOSCALE
M-04	【空調和設備】機器リスト	NOSCALE
M-05	【空調和設備】1階平面図 (現況・撤去図)	1:100
M-06	【空調和設備】1階平面図 (改修図)	1:100
M-07	【空調和設備】2階平面図 (現況・撤去図)	1:100
M-08	【空調和設備】2階平面図 (改修図)	1:100
M-09	【空調和設備】1階機械室平面図 (現況・撤去・改修図)	1:50
M-10	【換気設備】1階平面図 (現況・撤去・改修図)	1:100

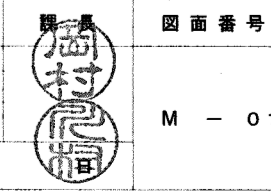
Table with 6 columns: Item (項目), Remarks (特記事項), and other details. Includes sections for project overview, specifications, and general conditions.

Table with 6 columns: Item (項目), Remarks (特記事項), and other details. Focuses on environmental and safety measures like air quality and noise control.

Table with 6 columns: Item (項目), Remarks (特記事項), and other details. Covers material specifications, construction methods, and safety protocols.

高知市 都市建設部 公共建築課

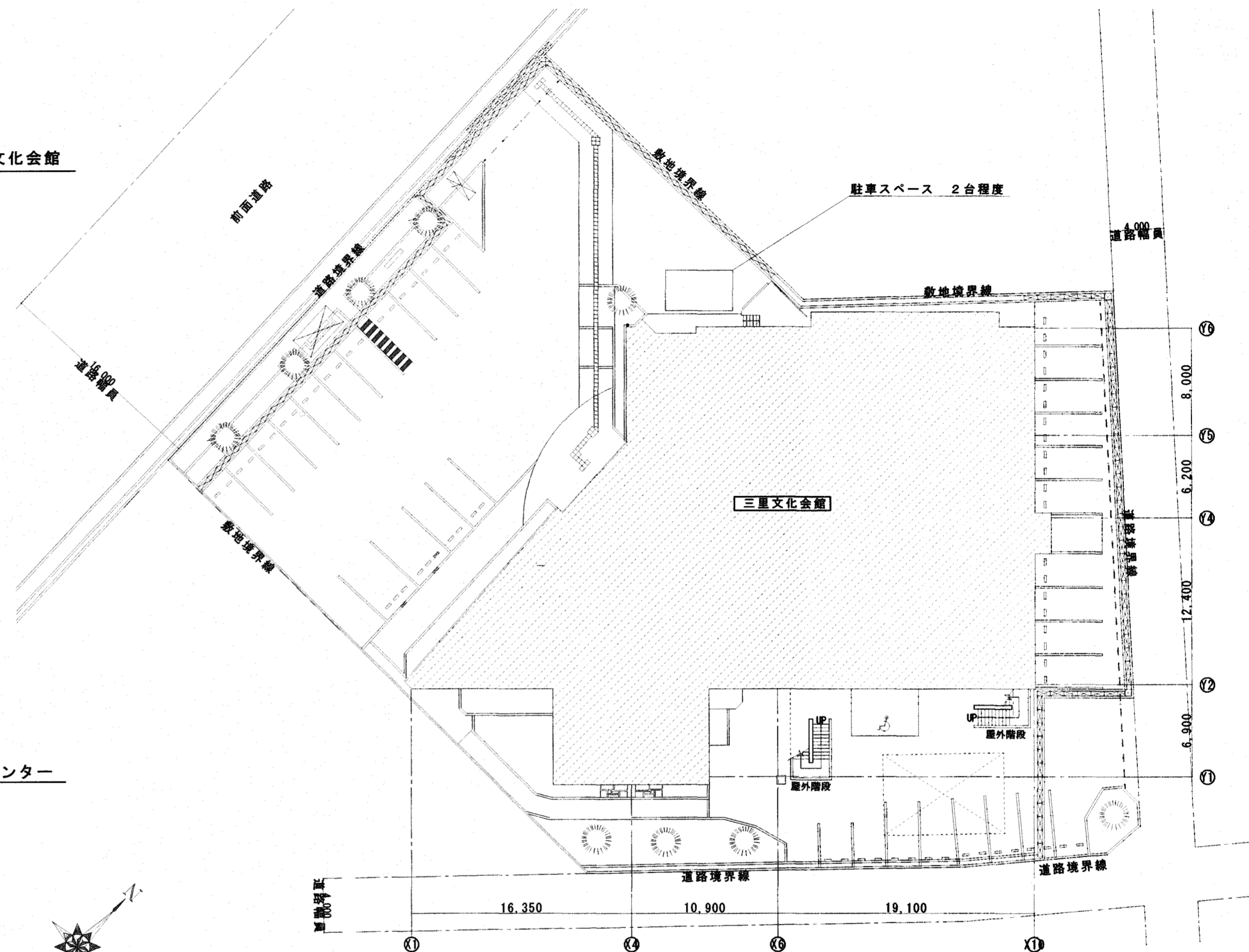
Administrative table with columns: Project Name (工事名), Status (係), Supervisor (係長), Staff (課長補佐), Designer (設計), Date (更新日), and Drawing Number (図面番号).



項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																		
機械設備特記事項																																																																																							
① 標識その他	<p>※ 配管表記 (1.1.7.4準拠) [1.1.8.5準拠]</p> <p>a) 機械室・ピット・PS内・天井点検口・配管分岐場所には必ず表記する。 b) 表記内容は、流体・サイズ・系統名とし、場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。 c) 配管の識別は、原則としてJIS Z 9102によるものとし、識別方法・色合いは監督職員の指示による。</p> <p>※ 機器表記 (該当する主要機器は事前に確認する。)</p> <p>a) 設計記号の付いている主要機器には、カッピングシート等に表記(管理番号・室名・設置年月等)を行う。 b) パッケージエアコン等の空調機は、室内機だけでなく室外機にも表記を行う。 c) 水中に設置する各種主要機器類は銘板(製造社名・製造年月・型式・性能等)を壁付近にも設ける。</p> <p>※ 弁には、開閉等を入力したアクリル札を取付け、風で飛んだり騒音を立てないように固定するか、表示方法を協議する。 ※ 埋設弁ボックスには、内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。 ※ 埋設弁ボックスの蓋は、流体の行き先側に蓋の付根を向ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管には、曲がり・分岐部・その他埋設管の位置が確認できるように地中埋設標を設ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管の埋戻し時には、G L-150mm程度に埋設表示用アルミテープを埋設する。</p>	<p>11 メカニカル継手</p> <p>※ メカニカル継手は伸縮可とう・離脱防止性能を有し、内外面エポキシ粉体塗装を施したものとす。 ※ 改修工事等で銅管(ライニング銅管)を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、切断部の防錆処理として、JAWWA K 135規格適合品にて処置する。</p> <p>12 吊り及び支持</p> <p>※ 原則として下図に従う。詳細は国土交通省仕様による。 (2.2.6.3準拠) [2.2.4.3準拠]</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <caption>横走り管の吊り及び振れ止め最大支持間隔</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">分類</th> <th colspan="10">呼び径</th> </tr> <tr> <th>15</th> <th>20</th> <th>25</th> <th>32</th> <th>40</th> <th>50</th> <th>65</th> <th>80</th> <th>100</th> <th>125</th> <th>150</th> <th>200</th> <th>250</th> <th>300</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">吊り金物による吊り</td> <td>銅管等</td> <td colspan="10">2.0m</td> <td colspan="4">3.0m</td> </tr> <tr> <td>ビニル管等</td> <td colspan="10">1.0m</td> <td colspan="4">2.0m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">形鋼振れ止め支持</td> <td>銅管等</td> <td colspan="4">—</td> <td colspan="2">8.0m</td> <td colspan="6">12m</td> </tr> <tr> <td>ビニル管等</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="2">6.0m</td> <td colspan="2">8.0m</td> <td colspan="6">12m</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 国土交通省仕様と吊り配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は取止めを適宜設ける。 ※ 屋外等で吊り金物による施工ができない場合には、プラケット等にて配管及び配管付属品を支持し、配管荷重による管の移動を抑える。</p>	分類	呼び径										15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	吊り金物による吊り	銅管等	2.0m										3.0m				ビニル管等	1.0m										2.0m				形鋼振れ止め支持	銅管等	—				8.0m		12m						ビニル管等	—		6.0m		8.0m		12m						<p>24 樹</p> <p>25 防振施工</p> <p>26 転倒・落下・傾き防止</p> <p>27 特定天井への対応</p> <p>28 耐震施工</p>	<p>b) 維持管理を管理者に引継ぐ場合は、直前に水質検査(BOD・SS・PH・大腸菌・塩素イオン)を行い、そのコピーを管理者、施設管理者、監督職員に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。 ※ 見えやすい場所に、型式・施工者名・設置年月・処理能力・放流水質を記入した銘板を設置する。</p> <p>※ コンクリート製の樹(工場製品)には、仕上がり5cm程度に砂利又は砂等で基礎を施す。 ※ プラスチック製の樹には、コンクリート製または既設の複合材製による基礎を施す。 ※ 舗装面に設置されない樹の蓋は、周囲をモルタル等(厚さ10cm程度)により保護する。 [下水道排水設備指針と解説準拠]</p> <p>※ 機器の騒音が建物に影響を及ぼすおそれのあるものは、適切な防振措置を施す。 ※ 電動機等により振動を生じる機器及び配管の固定部にはダブルナットやストッパーボルト等により締め、脱落防止措置を施す。ナットは、アイマークにより締付けが確認できるようにし、ナットに対するボルトの余長は3山以上を標準とする。 [公共建築設備工事標準準拠(機械設備工事編)準拠]</p> <p>※ 床又は壁に設置の機器で重量が大きく重心位置が比較的高い機器については転倒防止措置を施す。 ※ 天吊り機器には振止め用形鋼梁台や斜材を用いる等して落下・傾き防止措置を適切に施す。 ※ 天吊り機器と吊り金物との接続箇所毎に防振緩衝を設ける。 [建築設備検査資格者講習テキスト準拠]</p> <p>天吊り機器等の施工方法は、「建築物における天井脱落対策に係る技術基準」に適合すること。</p> <p>設備機器の固定等は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針(2014年版)」及び建設大臣官房官庁営繕部監修の「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説(平成8年版)」による。局部震度法による設計用標準震度は、構造体の耐震安全性の分類、設備機器の重要度及び設置層により選定する。100kg以上の機器に適用し、それ以下の機器については監督職員と協議する。 給湯設備の転倒防止措置は、建築基準法施行令第129条の2の7第2号及び同令に基づく告示(平成24年国土交通省告示第1447号)の定めによる。 なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。</p>
分類	呼び径																																																																																						
	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300																																																																									
吊り金物による吊り	銅管等	2.0m										3.0m																																																																											
	ビニル管等	1.0m										2.0m																																																																											
形鋼振れ止め支持	銅管等	—				8.0m		12m																																																																															
	ビニル管等	—		6.0m		8.0m		12m																																																																															
② 総合調整	<p>本工事に該当する工率項目に応じて、下記項目の総合調整を行い、計画書及び報告書を監督職員に提出する。</p> <p>a) 風量調整 b) 水量・水圧調整 c) 室内空気質の温湿度の測定 d) 騒音の測定 e) 室内気流及びじんあいの測定 f) 飲料水の水質の測定</p> <p>なお、季節により運転条件が異なる、使用開始から定常状態に入るまでに時間を要する等の理由により、工率内の測定完了が不可能な調整項目の対応については、監督職員との協議による。 (2.1.3.3準拠) [2.1.3.3準拠]</p>	<p>13 埋設管の保護</p> <p>※ 契約量水器までの埋設給水管及び埋設ガス管の周囲100mm程度に保護砂を入れる。 ※ 契約量水器以降の埋設給水管及び埋設消防管は簡易保温管で巻く。 ※ 排水管は管が移動しないように中心程度まで埋戻す。ただし、土圧及び上載荷重が管きよの耐荷重を超える場合は、遮断用砂で巻立て、外圧に対して管きよを保護する。 (2.2.7.1準拠) [2.2.5.1準拠] [下水道排水設備指針と解説]</p>	<p>29 別途工事</p> <p>30 支給品</p>	<p>施設の種類</p> <p>○ 特定の施設 ○ 一般の施設</p> <p>地域係数</p> <p>1.0</p> <p>設計用鉛直地震力</p> <p>設計水平地震力の1/2</p> <p>重要機器</p> <p>防災機器 火を使用する機器 タンク類 消防設備機器</p> <p>()内の数値は防振支持の機器の場合、[]内の数値は水箱類の場合に適用する。</p>																																																																																			
③ 配管材料	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>屋内露出</th> <th>天井PS内</th> <th>床下暗渠内</th> <th>屋外露出</th> <th>屋外埋設</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給水</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水・通気</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>125A以上はVU</td> </tr> <tr> <td>給湯</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消火</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷媒</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機器ドレン</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td>銅管</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷温水</td> <td>銅管(5)</td> <td>銅管(5)</td> <td>銅管(5)</td> <td>銅管(5)</td> <td>銅管(5)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水</td> <td>銅管(3)</td> <td>銅管(3)</td> <td>銅管(3)</td> <td>銅管(3)</td> <td>銅管(3)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 配管用炭素鋼管(SGP黒管:JIS G 3452)</p> <p>(2) 配管用炭素鋼管(SGP白管:JIS G 3452)</p> <p>(3) 水道用硬質塩化ビニル(硬質)鋼管(SGP-VB:JWWA K 116)</p> <p>(4) 水道用硬質塩化ビニル(軟質)鋼管(SGP-VD:JWWA K 116)</p> <p>(5) 水道用耐熱性硬質塩化ビニル(硬質)鋼管(SGP-HVA:JWWA K 140)</p> <p>(6) 消防用硬質塩化ビニル(硬質)鋼管(SGP-VS:WSP 041)</p> <p>(7) 排水用硬質塩化ビニル(硬質)鋼管(D-WA:WSP 042)</p> <p>(8) 配管用ステンレス鋼管(SUS 304 TP-A:JIS G 3459)</p> <p>(9) 一般配管用ステンレス鋼管(SUS 304 TPD:JIS G 3448)</p> <p>(10) 断熱材被覆鋼管(JGDA 0009)</p> <p>(11) 水道用炭素鋼管(厚肉)鋼管(JIS K 6787)</p> <p>(12) 水道用炭素鋼管(薄肉)鋼管(JIS K 6762)</p> <p>(13) 耐火二層管(内管VP)</p> <p>(14) 硬質ポリ塩化ビニル管(VP:JIS K 6742)</p> <p>(15) 硬質ポリ塩化ビニル管(VP-VU:JIS K 6741)</p> <p>(16) 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP:JIS K 6742)</p> <p>(17) 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(HIT:JIS K 6776)</p> <p>(18) 水道配水用ポリエチレン管(JWWA K 144)</p> <p>・建築設備用高密度ポリエチレン管</p> <p>(19) 消防用ポリエチレン管</p> <p>(20) 硬質ポリ塩化ビニル(硬質)管被覆鋼管</p> <p>(21) 硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6774)</p> <p>(22) 硬質ポリ塩化ビニル(硬質)管(JIS K 6741)</p> <p>(23) 保温材付空調用ポリエチレン管(JIS C 8430準拠-JIS K 6741)</p> <p>設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。 (2.2.1.2準拠) [2.2.1.1準拠]</p>	場所	屋内露出	天井PS内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考	給水	銅管	銅管	銅管	銅管	銅管		排水・通気	銅管	銅管	銅管	銅管	銅管	125A以上はVU	給湯	銅管	銅管	銅管	銅管	銅管		消火	銅管	銅管	銅管	銅管	銅管		ガス	銅管	銅管	銅管	銅管	銅管		冷媒	銅管	銅管	銅管	銅管	銅管		機器ドレン	銅管	銅管	銅管	銅管	銅管		冷温水	銅管(5)	銅管(5)	銅管(5)	銅管(5)	銅管(5)		冷却水	銅管(3)	銅管(3)	銅管(3)	銅管(3)	銅管(3)		<p>14 埋設深さ</p> <p>管の地中埋設深さは、原則として車両道路では管の上端より600mm以上、それ以外では300mm以上とする。ただし、寒冷地では凍結深度以上とする。 (2.2.7.2) [2.2.5.2]</p> <p>15 防食措置</p> <p>※ 銅管、鉛管のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。 (2.2.7.3準拠) [2.2.5.3準拠]</p> <p>※ 地中に埋設する鋼鉄管・鋼鉄異形管・メカニカル継手・特殊継手類にはポリエチレンスリーブ等の被覆を講じること。 [給水装置工事施工要領]</p>	<p>17 塗装</p> <p>亜鉛鍍金面の塗装下地は化学処理(エッチングプライマ)を施す。 (2.3.2.1) [2.3.2.1]</p> <p>18 はつり工事</p> <p>既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 [2.4.1.3]</p> <p>19 非破壊検査</p> <p>はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋、配管等の位置に墨出しを行う。 [2.4.1.1]</p>	<p>21 パッケージ型空調機</p> <p>機器仕様</p> <p>a) グリーン購入法調達基準適合品とし、各メーカーの最高効率機種とする。 [2.5.1.3]</p> <p>b) 室外機仕様 ・ JRA耐震仕様仕様 ・ 耐塩害仕様 ・ 防振架台 ・ 転倒防止金物 ・ 高調波対策仕様</p> <p>c) 室内機仕様 ・ ドレンアップメカ ・ 自動昇降パネル ・ 防振装置 ・ 振止め金物</p> <p>工事仕様</p> <p>a) ドレンアップメカにより排水する場合は、機器直近にて高居込に配管し、立下り部直上に掃除口を設ける。 b) 配管化熱カバーは、エンドキャップを使用しテープ巻きの範囲を最小限とし、ジャバラ部材は使用しない。 c) 配管化熱カバー・配管ラッキングは室外機の直近まで施す。 d) 室内機及び室外機への電源送りは電気設備工事とし、室外機間の差込電気配線及び室外機-室内機間の電気配線(アース含む)は配管、配線共本工事とする。渡り配線で、冷媒配管と同じルートに施工する場所は同配管外装内に納める。</p>													
場所	屋内露出	天井PS内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考																																																																																	
給水	銅管	銅管	銅管	銅管	銅管																																																																																		
排水・通気	銅管	銅管	銅管	銅管	銅管	125A以上はVU																																																																																	
給湯	銅管	銅管	銅管	銅管	銅管																																																																																		
消火	銅管	銅管	銅管	銅管	銅管																																																																																		
ガス	銅管	銅管	銅管	銅管	銅管																																																																																		
冷媒	銅管	銅管	銅管	銅管	銅管																																																																																		
機器ドレン	銅管	銅管	銅管	銅管	銅管																																																																																		
冷温水	銅管(5)	銅管(5)	銅管(5)	銅管(5)	銅管(5)																																																																																		
冷却水	銅管(3)	銅管(3)	銅管(3)	銅管(3)	銅管(3)																																																																																		
④ 配管付属品	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>弁名称</th> <th>寸法区分</th> <th>規格</th> <th>耐圧</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">給水</td> <td>ボール弁</td> <td>50A以下</td> <td>青銅・管端防食</td> <td>5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K</td> </tr> <tr> <td>バタフライ弁</td> <td>65A以上</td> <td>ライニング</td> <td>5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">給湯</td> <td>ボール弁</td> <td>50A以下</td> <td>青銅・管端防食</td> <td>5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K</td> </tr> <tr> <td>バタフライ弁</td> <td>65A以上</td> <td>SUS</td> <td>5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K</td> </tr> <tr> <td>冷温水</td> <td>玉形弁</td> <td>50A以下</td> <td>青銅・管端防食</td> <td>5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K</td> </tr> <tr> <td>冷却水</td> <td>バタフライ弁</td> <td>65A以上</td> <td>ライニング</td> <td>5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K</td> </tr> </tbody> </table> <p>設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。 (2.2.2.1準拠) [2.2.1.1準拠]</p>	系統名	弁名称	寸法区分	規格	耐圧	給水	ボール弁	50A以下	青銅・管端防食	5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K	バタフライ弁	65A以上	ライニング	5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K	給湯	ボール弁	50A以下	青銅・管端防食	5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K	バタフライ弁	65A以上	SUS	5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K	冷温水	玉形弁	50A以下	青銅・管端防食	5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K	冷却水	バタフライ弁	65A以上	ライニング	5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K	<p>22 ダクト及びダクト付属品</p> <p>空調ダクト材料</p> <p>※ 亜鉛鉄板製 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VU) ・ ステンレス製</p> <p>換気ダクト材料</p> <p>※ 亜鉛鉄板製 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VU) ・ ステンレス製</p> <p>屋外フード</p> <p>ウェザーカバーはステンレス製・給排気形・水切り付きとし、バンドキャップはステンレス製・深型・水切り付きとする。 原則として、排気用には防鳥網、給気用には防虫網を設ける。</p>	<p>23 合併処理浄化槽</p> <p>・ 浄化槽の使用開始後概ね3ヶ月間の試運転調整を行う。浄化槽法による「保守点検及び清掃等」のほか下記の事項による。 a) 最低限の点検回数、小型・沈殿分離方式は月に1回、流量調整槽のある場合は2週に1回とする。</p>																																																			
系統名	弁名称	寸法区分	規格	耐圧																																																																																			
給水	ボール弁	50A以下	青銅・管端防食	5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K																																																																																			
	バタフライ弁	65A以上	ライニング	5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K																																																																																			
給湯	ボール弁	50A以下	青銅・管端防食	5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K																																																																																			
	バタフライ弁	65A以上	SUS	5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K																																																																																			
冷温水	玉形弁	50A以下	青銅・管端防食	5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K																																																																																			
冷却水	バタフライ弁	65A以上	ライニング	5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K																																																																																			
5 スリーブ	<p>国土交通省仕様とする。ただし、水密を要する部分は配管用ステンレス鋼管及び水膨張性ゴムリングを用いる。 (2.2.2.27準拠)</p>																																																																																						
⑥ 支持材料	<p>※ 1階土間コンクリート下部配管は、ステンレス製吊りボルトにてスラブ筋に支持する。 ※ 屋外及びピット内配管の支持金物・形鋼振れ止め金物・吊り金物・インサート金物・アンカーボルトはステンレス製とする。 ※ 形鋼振れ止め支持部材の選定は、公共建築設備工事標準準拠(機械設備工事編)に準ずるものとし、既製品は使用しない。 ※ 冷媒管の吊り用支持受け材として、断熱材被覆鋼管と吊り金物との間に保護プレートを設ける。</p>																																																																																						
7 さや管工法	<p>さや管ヘッダー工法で施工する場合、さや管施工後に配管挿入を行い、同時施工としない。</p>																																																																																						
8 変位吸収配管施工	<p>※ 建築物導入部及びエキスパンションジョイント部は、フレキシブルジョイント等を使用する方法で施工する。 ※ 埋設管の屋内外接続部では、地盤沈下の実状に対して可とう継手、伸縮可とう継手を設ける等の措置を講じる。 設計図面に個別の記載がない場合は、伸縮継手、自在継手を使用してもよい。 ※ 埋設管と露出配管の切替部(配管立ち上がり部)に伸縮継手を設ける。 [給水装置工事施工標準準拠] [下水道排水設備指針と解説準拠]</p>																																																																																						
9 フランジ接合	<p>※ 屋外及びピット内のフランジ接合材は、ステンレス製とし換付防止処置を施す。 ※ 異種管のフランジ接合は、絶縁スリーブ、絶縁ワッシャー等による絶縁フランジ接合とする。</p>																																																																																						
10 融着接合	<p>ポリエチレン管融着接合作業における技能者は、十分な経験と技能を有するものとする。</p>																																																																																						
高知市 都市建設部 公共建築課			三里文化会館空調設備取替工事																																																																																				
工事名			保 保長 課長補佐 課長 図面番号																																																																																				
図面名 特記仕様書(2)			更新日 2024.5.1 作図 2024年 5月 日 M-02																																																																																				



附近見取図 S=1/FREE



配置図 S=1/FREE

工事概要	
1. 経年劣化したファンコイルユニットと冷温水循環ポンプを更新するもの。	
2. ファンコイルユニット更新時は電源線、ダクト、ドレン管及び冷温水配管は再利用すること。ビルトイン型のファンコイルユニットを更新する時はサプライチャンパーも併せて更新すること。	
3. リコン線は0.9mm-2Cとし、立上り部は樹脂モールを新設すること。	
4. ポンプ更新時は、架台及び配管は再利用すること。	
5. 施設管理者と工事日程は調整すること。	
6. 機器撤去に必要な天井補修は見込むこと。	

		高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	備	保長	課長補佐	図面番号
				三里文化会館空調設備取替工事	水関	戸田	中村	M-03
				図面名	配置図・附近見取図・工事概要			作図 2024年

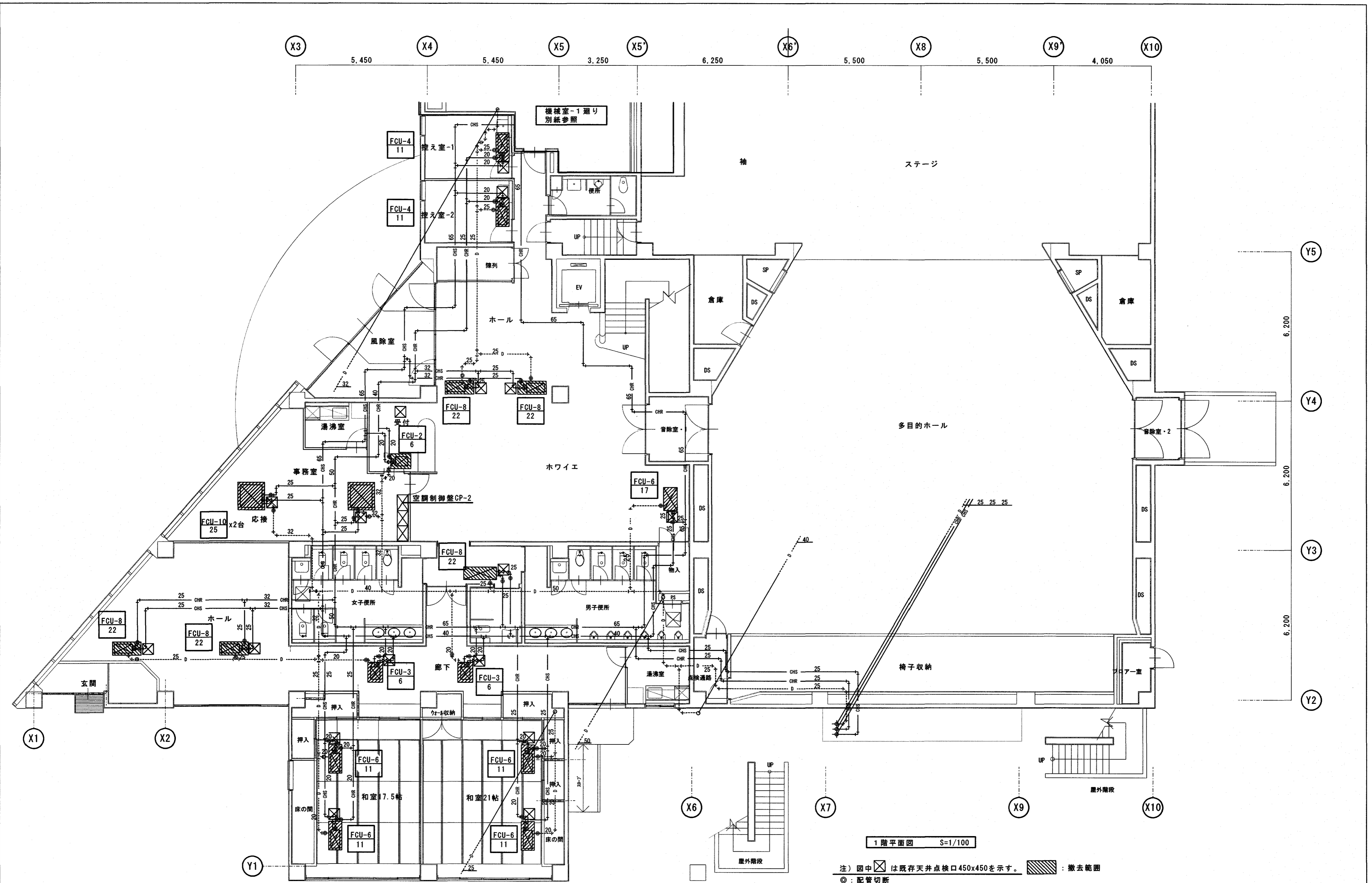
既存空調機器改修リスト

記号	名称	仕様	能力	内容	員数
FCU-2 6	ファンコイルユニット	天井カセット型	水量6リットル/分 冷房:1800kcal/h 暖房:2800kcal/h 200タイプ 型番(矢崎総業 KN-200S)	撤去	1
FCU-3 6	ファンコイルユニット	天井カセット型	水量8リットル/分 冷房:2400kcal/h 暖房:4000kcal/h 300タイプ 型番(矢崎総業 KN-300)	撤去	2
FCU-4 11	ファンコイルユニット	天井カセット型	水量11リットル/分 冷房:3300kcal/h 暖房:5500kcal/h 400タイプ 型番(矢崎総業 KN-400S)	撤去	2
FCU-6 11	ファンコイルユニット	天井カセット型	水量11リットル/分 冷房:4100kcal/h 暖房:6100kcal/h 600タイプ 型番(矢崎総業 KN-600S)	撤去	4
FCU-6 17	ファンコイルユニット	ビルトイン型 FCU-6 サプライチャンパー 1,200×400×400 (GW25mm内貼)撤去のこと(1組) 型番(矢崎総業 CR-600)	水量17リットル/分 冷房:4550kcal/h 暖房:7500kcal/h 600タイプ	撤去	1
FCU-6 22	ファンコイルユニット	天井カセット型	水量22リットル/分 冷房:4550kcal/h 暖房:7500kcal/h 600タイプ 型番(矢崎総業 KN-600S)	撤去	1
FCU-8 22	ファンコイルユニット	ビルトイン型 FCU-8 サプライチャンパー 1,500×400×400 (GW25mm内貼)撤去のこと(1組) 型番(矢崎総業 CR-800)	水量22リットル/分 冷房:6600kcal/h 暖房:10700kcal/h 800タイプ	撤去	1
		天井カセット型	水量22リットル/分 冷房:5400kcal/h 暖房:10980kcal/h 800タイプ 型番(矢崎総業 CR-800)	撤去	6
FCU-10 25	ファンコイルユニット	天井カセット型	水量25リットル/分 冷房:7500kcal/h 暖房:11500kcal/h 1000タイプ 型番(矢崎総業 YKCS-302S1)	撤去	2
FCU-12 31	ファンコイルユニット	天井カセット型	水量31リットル/分 冷房:9300kcal/h 暖房:15000kcal/h 1200タイプ 型番(矢崎総業 KN-1200)	撤去	2

改修空調機器改修リスト

記号	名称	仕様	能力	内容	員数
FCU-2 6	ファンコイルユニット	天井カセット型	水量6リットル/分 冷房:1800kcal/h 暖房:2800kcal/h 200タイプ	新設	1
FCU-3 6	ファンコイルユニット	天井カセット型	水量8リットル/分 冷房:2400kcal/h 暖房:4000kcal/h 300タイプ	新設	2
FCU-4 11	ファンコイルユニット	天井カセット型	水量11リットル/分 冷房:3300kcal/h 暖房:5500kcal/h 400タイプ	新設	2
FCU-6 11	ファンコイルユニット	天井カセット型	水量11リットル/分 冷房:4100kcal/h 暖房:6100kcal/h 600タイプ	新設	4
FCU-6 17	ファンコイルユニット	ビルトイン型 FCU-6 サプライチャンパー 1,200×400×400 (GW25mm内貼)新設のこと(1組)	水量17リットル/分 冷房:4550kcal/h 暖房:7500kcal/h 600タイプ	新設	1
FCU-6 22	ファンコイルユニット	天井カセット型	水量22リットル/分 冷房:4550kcal/h 暖房:7500kcal/h 600タイプ	新設	1
FCU-8 22	ファンコイルユニット	ビルトイン型 FCU-8 サプライチャンパー 1,500×400×400 (GW25mm内貼)新設のこと(1組)	水量22リットル/分 冷房:6600kcal/h 暖房:10700kcal/h 800タイプ	新設	1
		天井カセット型	水量22リットル/分 冷房:5400kcal/h 暖房:10980kcal/h 800タイプ	新設	6
FCU-10 25	ファンコイルユニット	天井カセット型	水量31リットル/分 冷房:9300kcal/h 暖房:15000kcal/h 1200タイプ	新設	2
FCU-12 31	ファンコイルユニット	天井カセット型	水量31リットル/分 冷房:9300kcal/h 暖房:15000kcal/h 1200タイプ	新設	2

※リモコン数22個には樹脂製露出用スイッチボックス(2個用)を見込むこと。
 ※ファンコイルユニットの各冷温水配管に「ルキップループ」を見込むこと(20A×300L×18本 25A×300L×26本)。

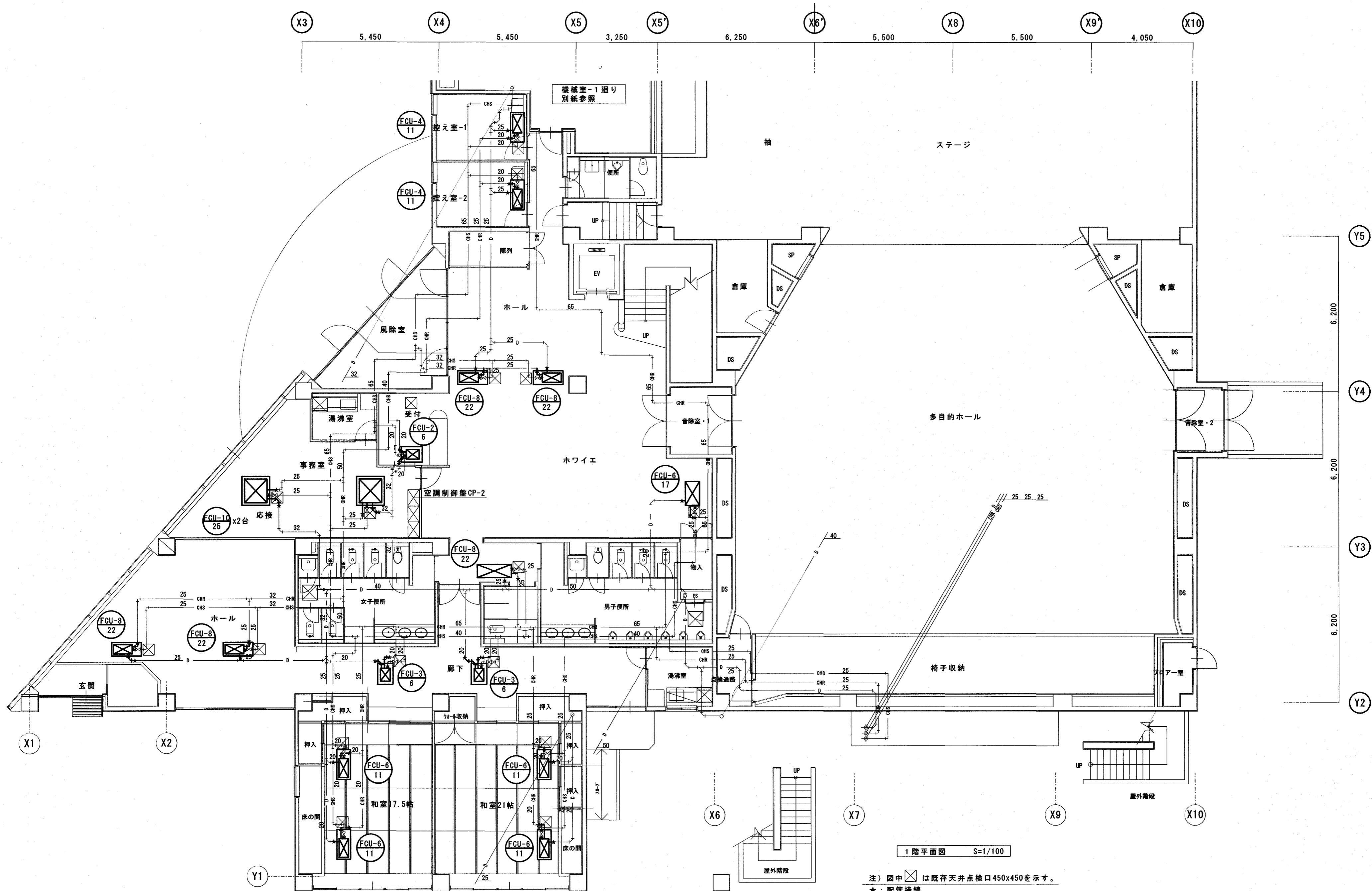


1階平面図 S=1/100

注) 図中 は既存天井点検口450x450を示す。 : 撤去範囲
 ◎ : 配管切断

高知市 都市建設部 公共建築課

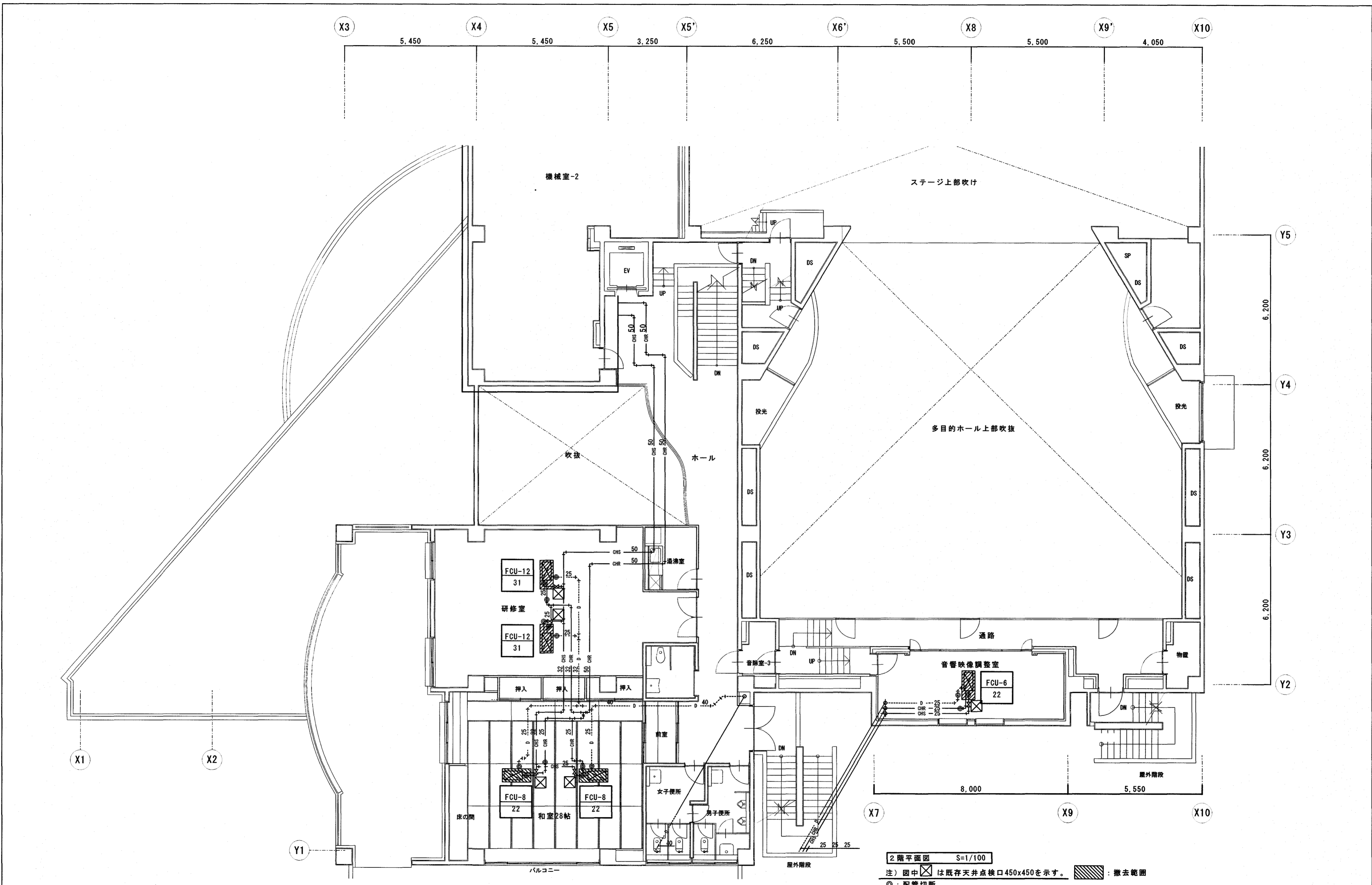
工事名	係	係長	課長補佐	監査	図面番号
三里文化会館空調設備取替工事					M-05
図面名【空調調和設備】1階平面図(現況・撤去図)	縮尺	S=1/100	作図	2024年 5月	日



注) 図中 は既存天井点検口450x450を示す。
 ★: 配管接続

高知市 都市建設部 公共建築課

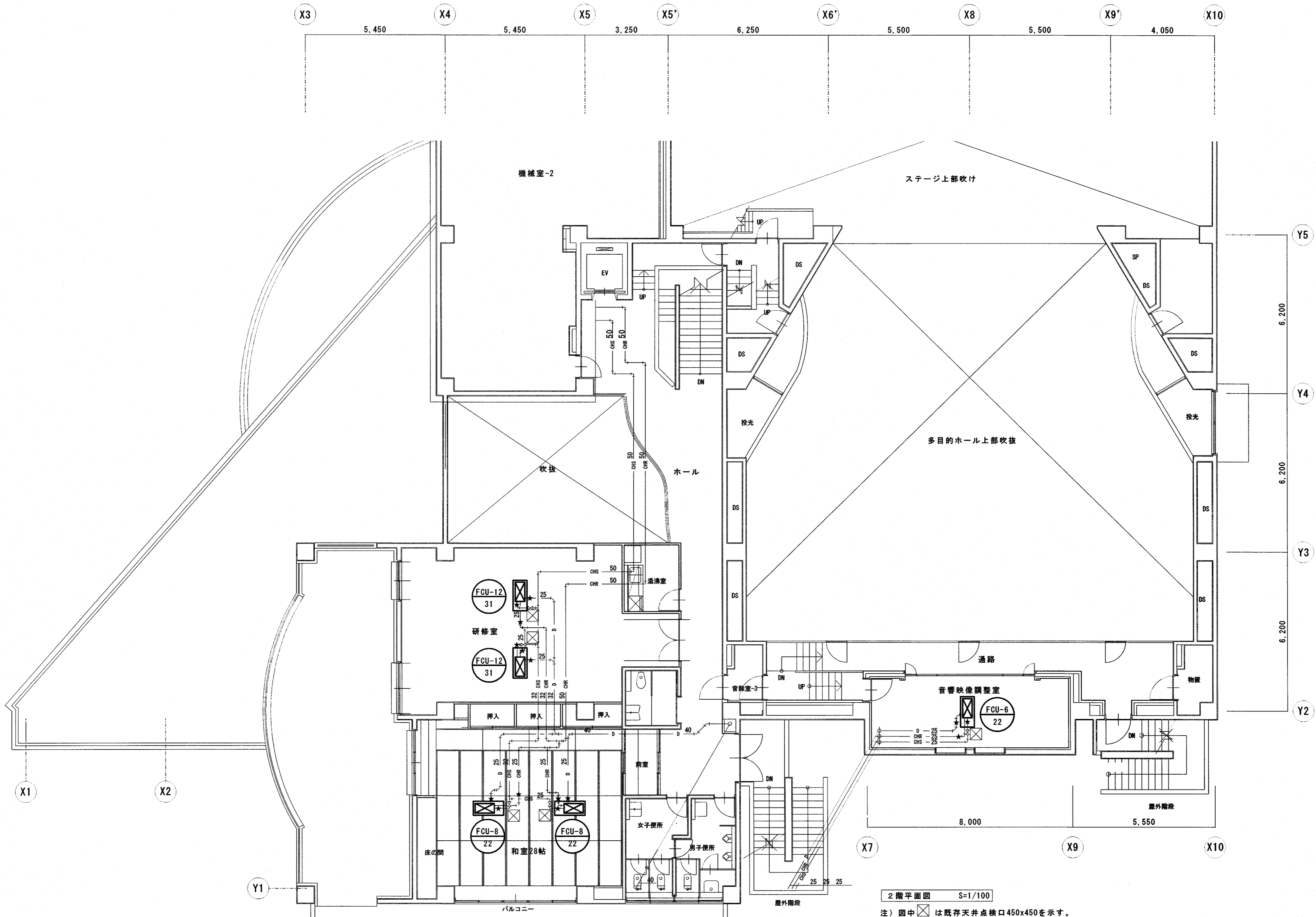
工事名	三里文化会館空調設備取替工事	係	水関	係長	戸田	課長補佐	中村	設計	梅村	図面番号	M-06
図面名【空調設備】1階平面図 (改修図)	縮尺	S=1/100	作図	2024年 5月			日				



2階平面図 S=1/100
 注) 図中 ⊠ は既存天井点検口450x450を示す。 ▨ : 撤去範囲
 ◎ : 配管切断

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	主任	図面番号
三里文化会館空調設備取替工事	水関	戸田	中村	橋本	M-07
図面名【空調調和設備】2階平面図(現況・撤去図)	縮尺	S=1/100	作図	2024年 5月	日



2階平面図 S=1/100

注) 図中 は既存天井点検口450x450を示す。
★: 配管接続

高知市 都市建設部 公共建築課

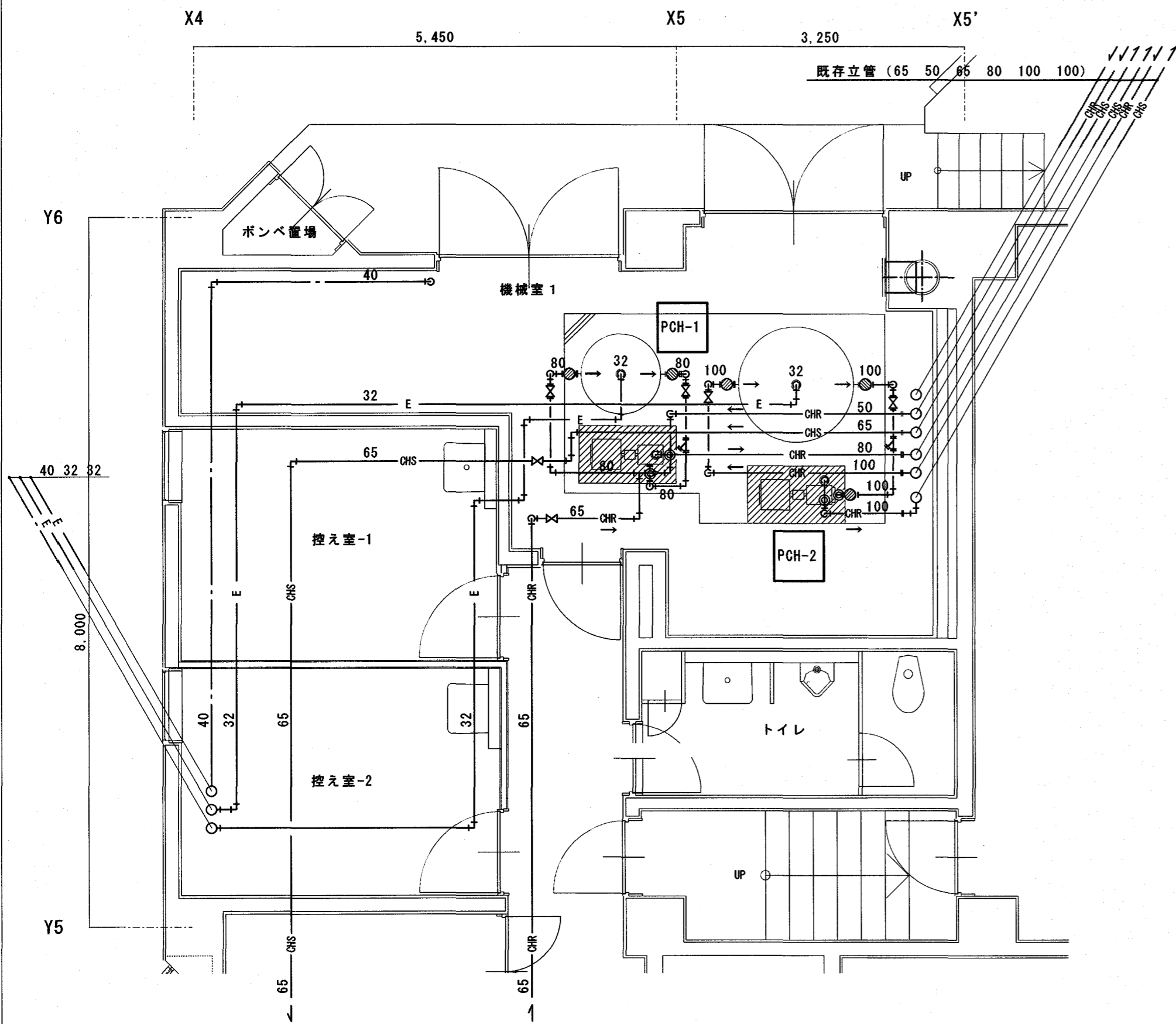
工事名	三里文化会館空調設備取替工事			係	係長	課長補佐	図面番号
図面名	【空調設備】2階平面図 (改修図)	縮尺	S=1/100	作図	2024年 5月		M-08

撤去機器リスト						
記号	機器名称	機器仕様	電気容量	台数	設置場所	備考
PCH-1	多段渦巻ポンプ	ポンプ既存型式：テラル製 M65-II-2 Φ65 410L/min×25mH×5.5kW		1	機械室	製造番号：A11N084791 共通ベース撤去
		電動機既存型式：テラル製 5.5kW MMB-6.6K4 4P	3φ-200V	1	機械室	製造番号：TW10F001780 電源線切離し共 IP44 IC411
PCH-2	渦巻ポンプ	ポンプ既存型式：テラル製 SHF-100-1 Φ100 1,000L/min×24mH×7.5kW		1	機械室	製造番号：A11N084792 共通ベース撤去
		電動機既存型式：テラル製 7.5kW MMB-7.5K4 4P	3φ-200V	1	機械室	製造番号：TH10C000427 電源線切離し共 IP44 IC411

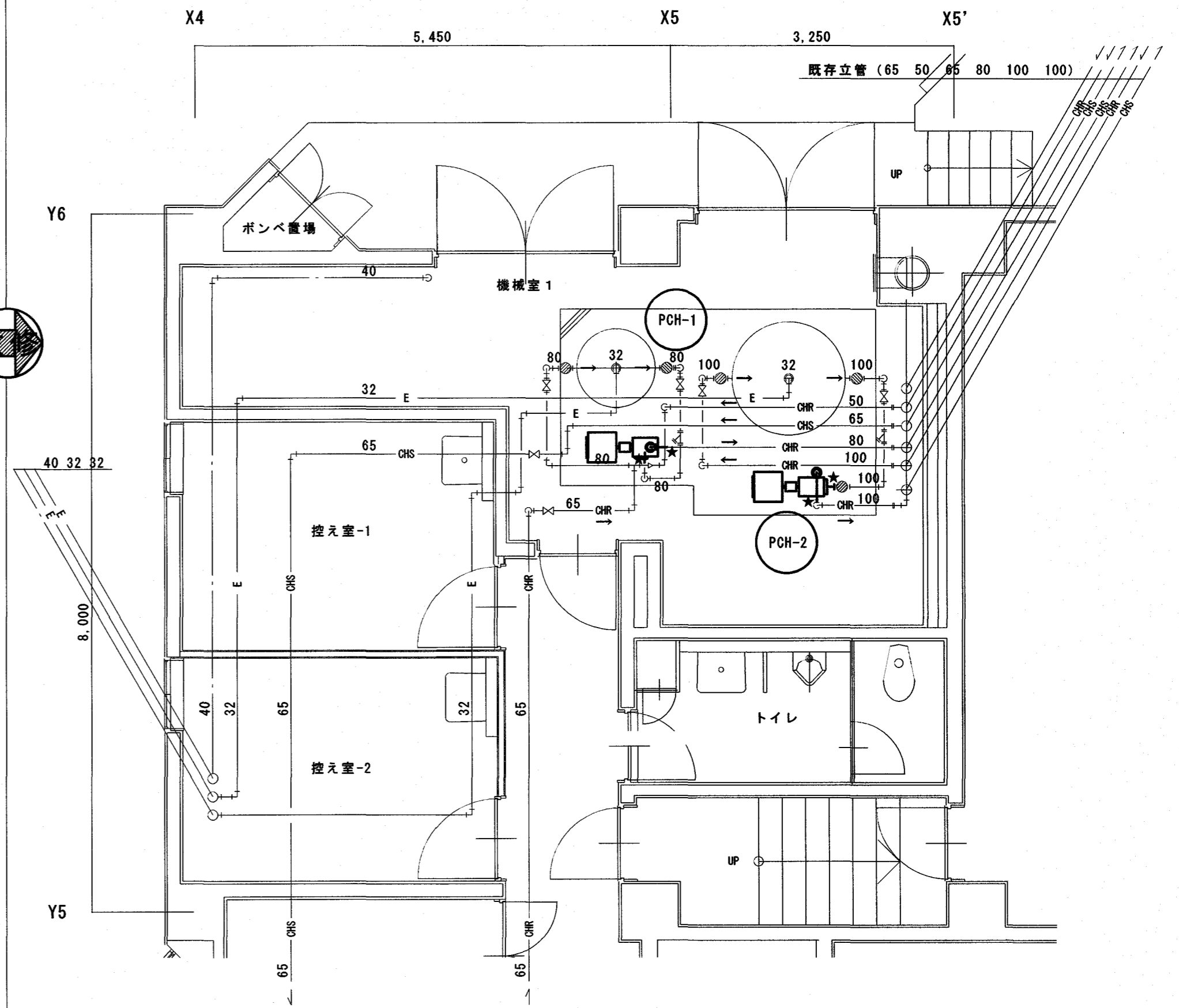
※電源線は流用する。
◎：配管切離
////：撤去機器

新設機器リスト						
記号	機器名称	機器仕様	電気容量	台数	設置場所	備考
PCH-1	多段渦巻ポンプ	Φ65 410L/min×21.5mH×5.5kW		1	機械室	共通ベース共
		上記用電動機 5.5kW 4P	3φ-200V	1	機械室	保護方式IP44 冷却方式IC411 電源線復旧共
PCH-2	渦巻ポンプ	Φ100 1,000L/min×24mH×7.5kW		1	機械室	共通ベース共
		上記用電動機 7.5kW 4P	3φ-200V	1	機械室	保護方式IP44 冷却方式IC411 電源線復旧共

※撤去・新設時には作業エリアを養生・清掃すること。
※電源線は流用する。
※★：配管接続



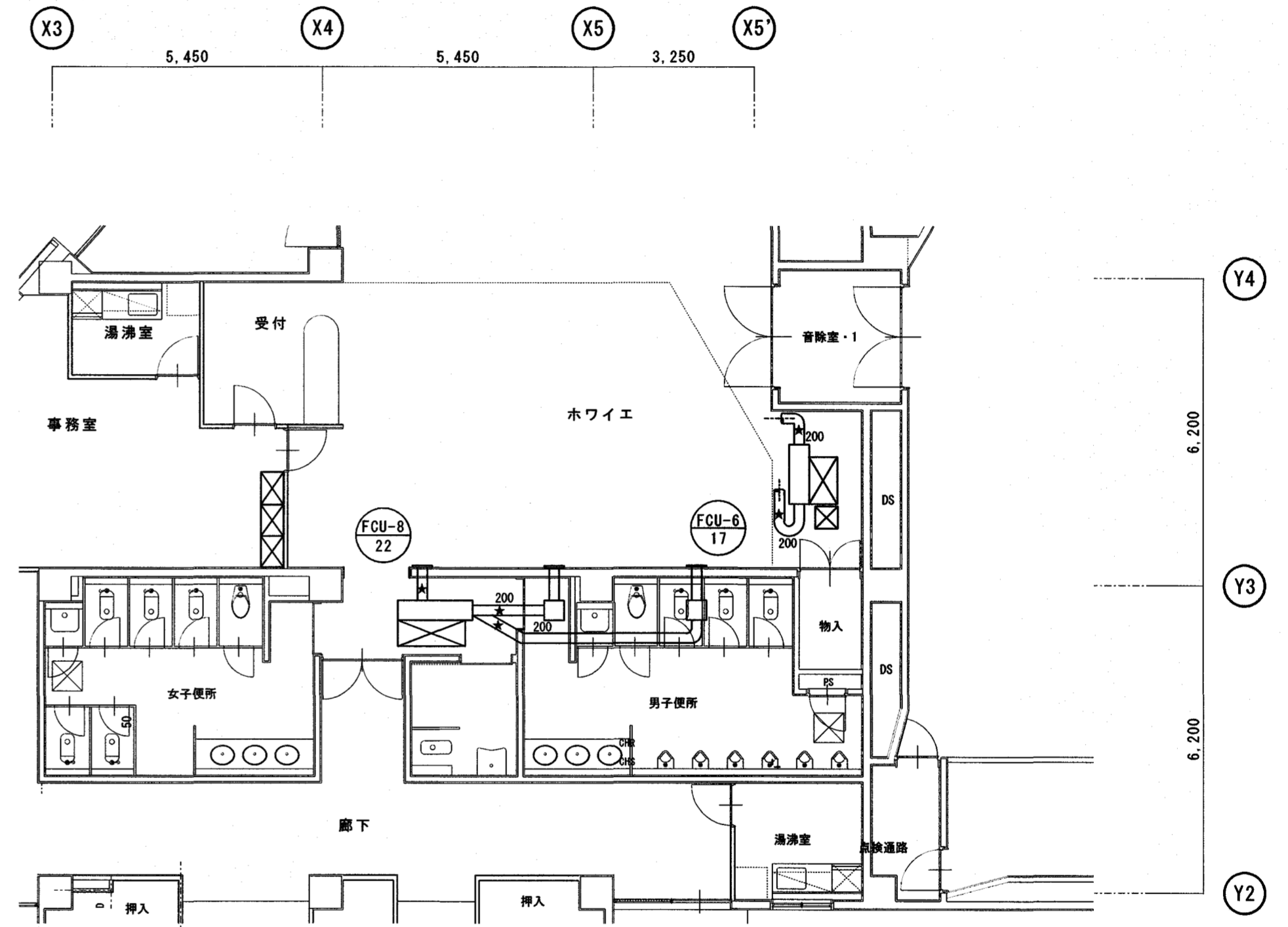
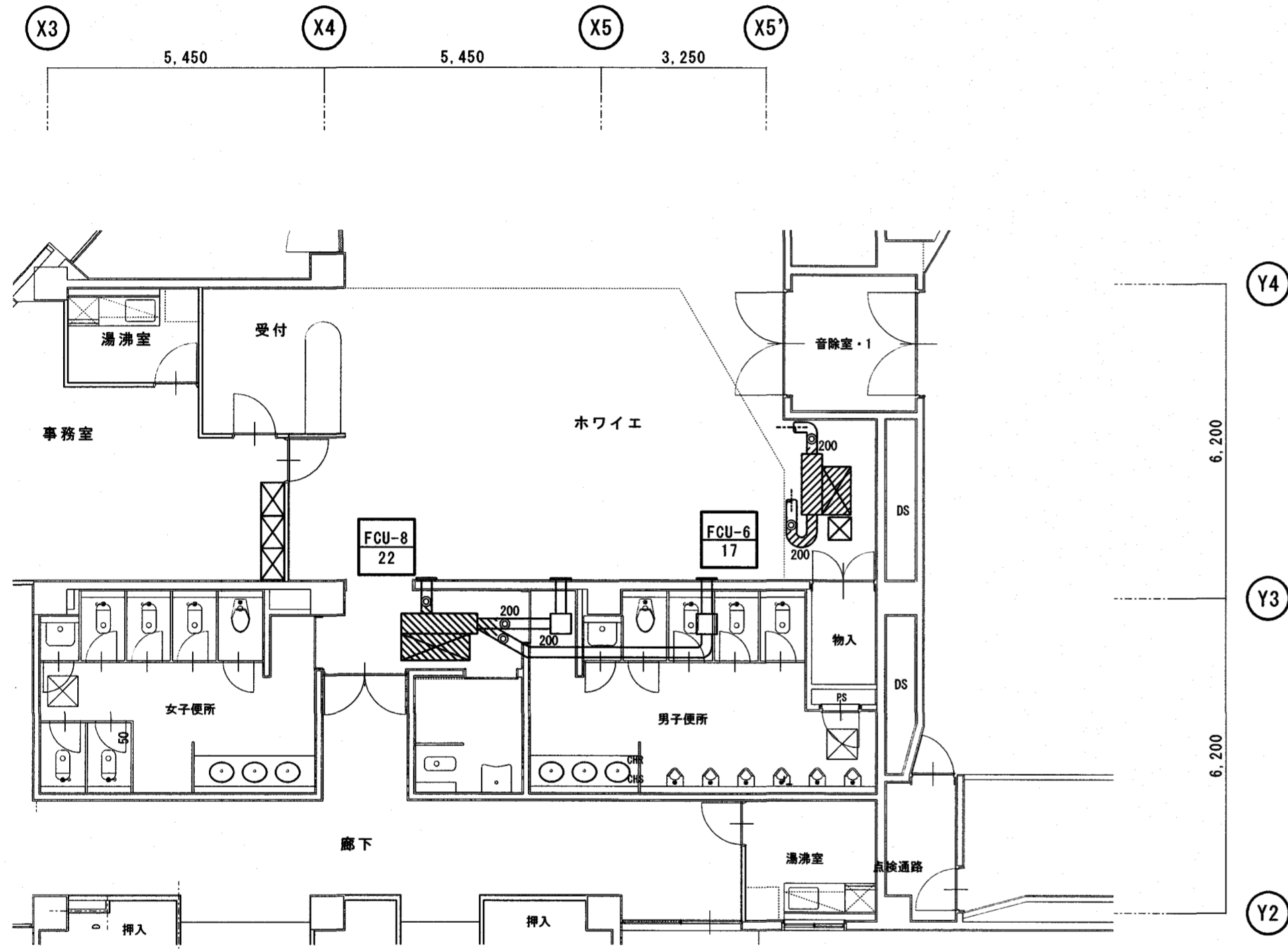
1階機械室平面図【現況・撤去図】 S=1/50



1階機械室平面図【改修図】 S=1/50

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	主任	図面番号
三里文化会館空調設備取替工事	水園	戸田	中村	水園	M-09
図面名【空調調和設備】1階機械室平面図(現況・撤去・改修図)	縮尺	S=1/50	作図	2024年 5月	



高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	図面番号
三里文化会館空調設備取替工事	水関	戸田	中村	M-10
図面名【換気設備】1階平面図 (現況・撤去・改修図) 縮尺	作図	2024年	5月	
S=1/100				